

JSA PIMS2016

管理者マニュアル

— 2. インストール —

R.5 2016 年 12 月

公益社団法人 日本麻酔科学会



改版履歴

版数	発行日	変更理由
R. 0	2010 年 12 月	
R. 1	2011 年 12 月	Ver4.0.2 からの新 OS 対応
R. 2	2012 年 6 月	Ver4.0.3 対応
R. 3	2012 年 12 月	Ver4.0.4 対応
R. 4	2014 年 8 月	Windows 8, 2012 Server 対応
R. 5	2016 年 12 月	Ver5.0 対応

目次

1 はじめに	4
1.1 管理者マニュアルの構成	4
1.2 本書の対象者	4
1.3 免責事項	4
1.4 表記規則	4
2 システム稼働環境	5
2.1 共通	5
2.1.1 動作対応 OS	5
2.1.2 利用可能な形態	5
2.2 1 台のコンピュータで利用する形態	5
2.3 複数のコンピュータでネットワークを介し利用する形態	6
3 インストール概要	7
3.1 準備	7
3.1.1 インストーラファイルの準備	7
3.1.2 データベースのバックアップ取得【重要】	7
3.2 インストール所要時間	7
4 インストール方法	7
4.1 インストールユーザ権限	7
4.2 インストール手順	8
4.3 旧環境のデータベースを新環境へ移行するには	13

4.3.1 旧環境、新環境の OS の両方ともが、Windows10, 8, 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server のうちのいずれかの場合	13
4.3.2 旧環境の OS が、Windows 2000, XP(XP Mode 含む), 2003 Server のいずれかであり、新環境の OS が Windows 10, 8, 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server の場合	13
5 システム利用スタート.....	21
5.1 ブラウザの設定.....	21
5.1.1 ポップアップブロックは使わない設定にする。	21
5.1.2 [インターネット一時ファイル]の設定	22
5.1.3 プロキシの設定	23
5.1.4 セキュリティ設定	24
5.1.5 Cookie の許可.....	26
5.2 システムの起動.....	27
5.3 システムへの最初のログイン	28
6 システムを試用するには	29
6.1 試用データの登録方法	29
6.1.1 jsatest ユーザでログイン	29
6.2 試用データの削除方法	30

1 はじめに

本書は、JSA PIMS2016（以下本システムといいます）のインストール方法を説明するものです。

1.1 管理者マニュアルの構成

管理者マニュアルは、以下の 5 編で構成されています。必要に応じた編をご参照ください。

- ・ 本編
- ・ インストール編（本書）
- ・ 運用管理編
- ・ データ移行編
- ・ CSV によるデータ登録編

1.2 本書の対象者

本書は本システムの管理者を読者の対象としています。




本書に記載している内容は以下の通りです。

本システムの管理者は、システムを適切にご使用いただくために、本書に目を通した上で、システムをご使用ください。

1.3 免責事項

システムの不適切な使用に伴う患者情報等の個人情報の漏洩については、本学会は責任を負いません。

1.4 表記規則

規則	意味
「手術管理」 「手術室予約」	メニューの名称を表します。メニューの大項目と小項目の間は、縦線で区切って表します。
[]	大カッコ内は、画面やダイアログボックスに表示される文字、またはキーボードのキーを表します。
<>	山カッコ内は、ユーザが入力する内容を表します。
→	操作したあとの結果を表します。
 注意	ご使用となるうえでの注意事項を表します。
 参照	ほかのマニュアルやヘルプの参照先を表します。
 ヒント	知っておくと便利な情報を表します。

2 システム稼働環境

ここでは、本システムの稼働環境を説明します。

2.1 共通

2.1.1 動作対応 OS

本システムは、下記の日本語版 OS にインストールし、利用することができます。

- ・Windows 10 32/64bit (Home, Pro, Enterprise の各エディション)
- ・Windows 8.1 32/64bit (無印, Pro, Enterprise の各エディション)
- ・Windows 8 32/64bit (無印, Pro, Enterprise の各エディション)
- ・Microsoft Windows 2012 Server R2
- ・Microsoft Windows 2012 Server
- ・Windows 7 32/64bit (Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate の各エディション)
- ・Microsoft Vista 32/64bit (Home Premium, Business, Enterprise, Ultimate の各エディション)
- ・Microsoft Windows 2008 Server R2
- ・Microsoft Windows 2008 Server 32/64bit

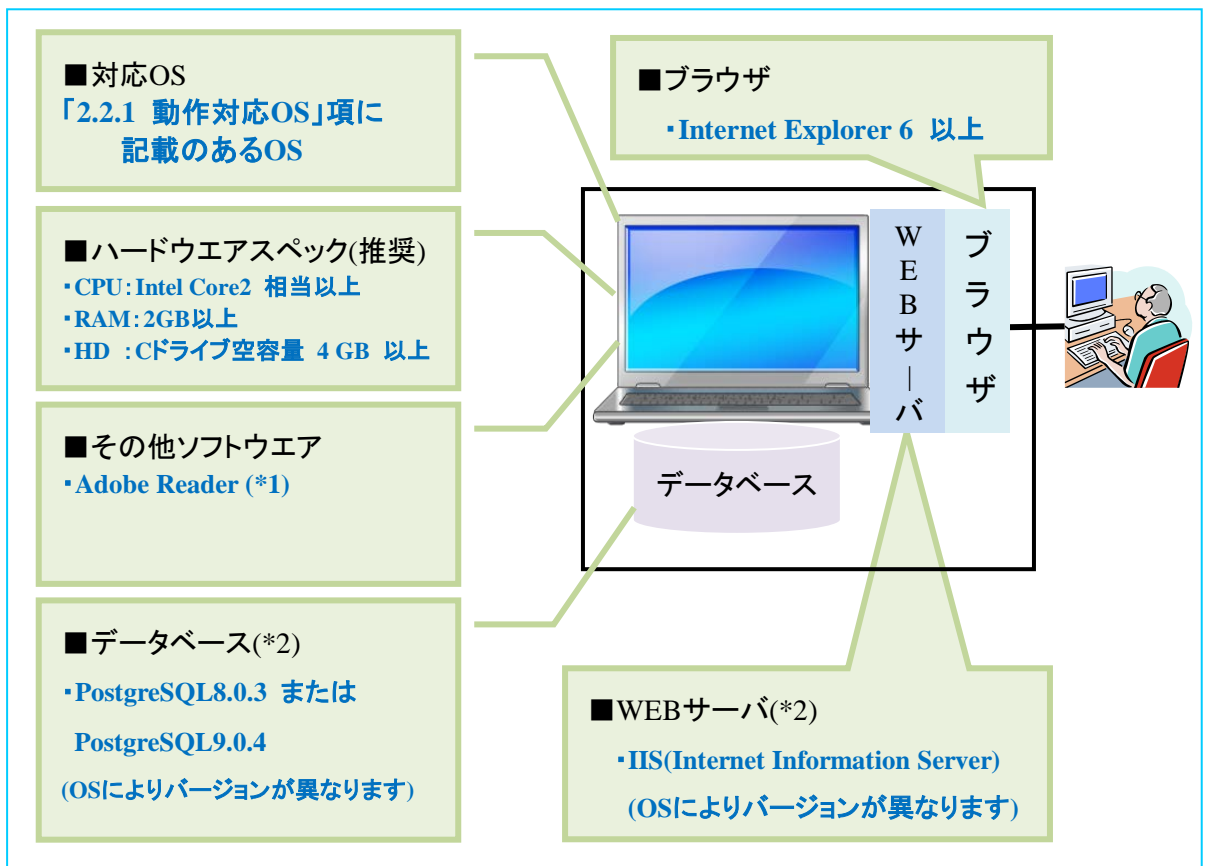
注) Windows Vista Home Basic、Windows XP、2003 Serverにはインストールできません。

2.1.2 利用可能な形態

- ・1 台のコンピュータで利用する
- ・複数のコンピュータでネットワークを介し利用する

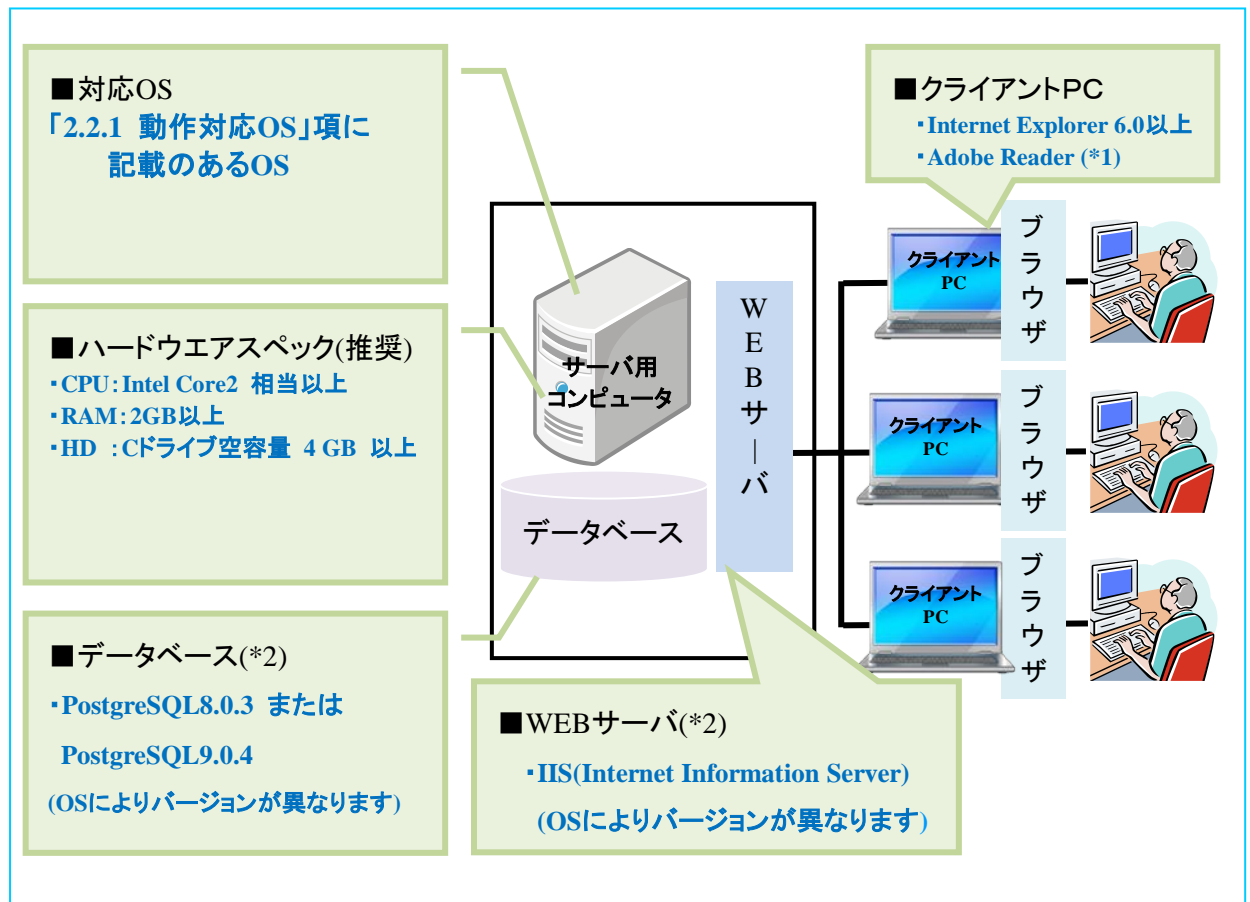
各形態のハードウェア・ソフトウェア等のシステム稼働環境を 2.2 項で説明します。

2.2 1 台のコンピュータで利用する形態



- (*1) Adobe Readerは、手術管理-手術予定表、手術台帳・麻酔台帳の印刷時に必要です。本システムのインストーラでは、インストールされませんので、追加のインストールが必要です。
- (*2) 本システムのインストーラによりインストールされますので、事前インストールなどの必要はありません。

2.3 複数のコンピュータでネットワークを介し利用する形態



複数のコンピュータでご利用いただくには、サーバ用コンピュータを1台ご用意いただき、サーバ用コンピュータ上で本システムのインストーラを実行しインストールを行います。

- (*1) Adobe Readerは、手術管理-手術予定表、手術台帳・麻酔台帳の印刷時に必要です。本システムのインストーラでは、インストールされませんので、追加のインストールが必要です。
- (*2) 本システムのインストーラによりインストールされますので、事前インストールなどの必要はありません。

3 インストール概要

3.1 準備

3.1.1 インストーラファイルの準備

ヘルプデスクサイトよりダウンロードした JSA PIMS 2016 Ver5.0 インストーラ ZIP 形式ファイルを展開した後のファイル一式を、インストール対象のコンピュータ上に配置してください。

3.1.2 データベースのバックアップ取得【重要】

JSA PIMS をご使用中のコンピュータにインストールする場合は、データ保全のため、インストールの事前に既存データベースのバックアップをしてください。

バックアップの取得方法は、下記マニュアル項をご参照ください。



参照 JSA_PIMS2016 管理者マニュアル(3.運用管理).pdf の「2.データのバックアップをするには【重要】」、「2.1 Windows 10, 8, 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server をご使用の場合」

3.2 インストール所要時間

インストールには、10分～30分程度の時間を要します。

4 インストール方法

4.1 インストールユーザ権限



注意 インストールの際は、以下の権限を持ったユーザでコンピュータにログインし操作してください。

→「Administrator」権限

【現在ログインしているユーザの権限の確認方法】

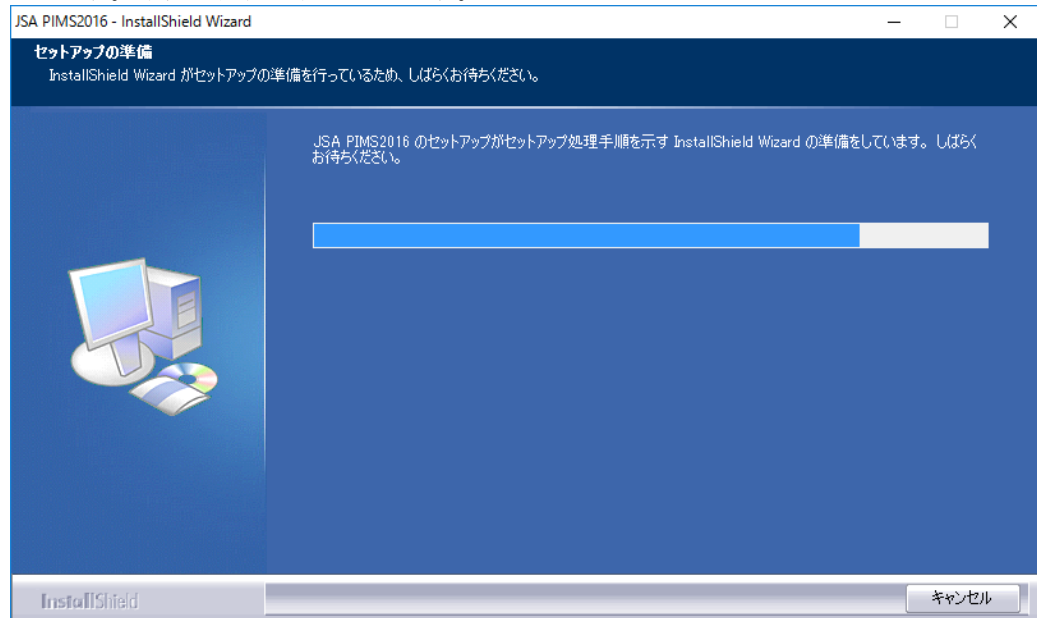
・「スタート」|「コントロールパネル」|「ユーザアカウント」を選択します。

→ 以下の画面が表示されます。現在ログインしているユーザ名の下欄に「Administrator」と表示されていることを確認します。(画面はサンプルです)

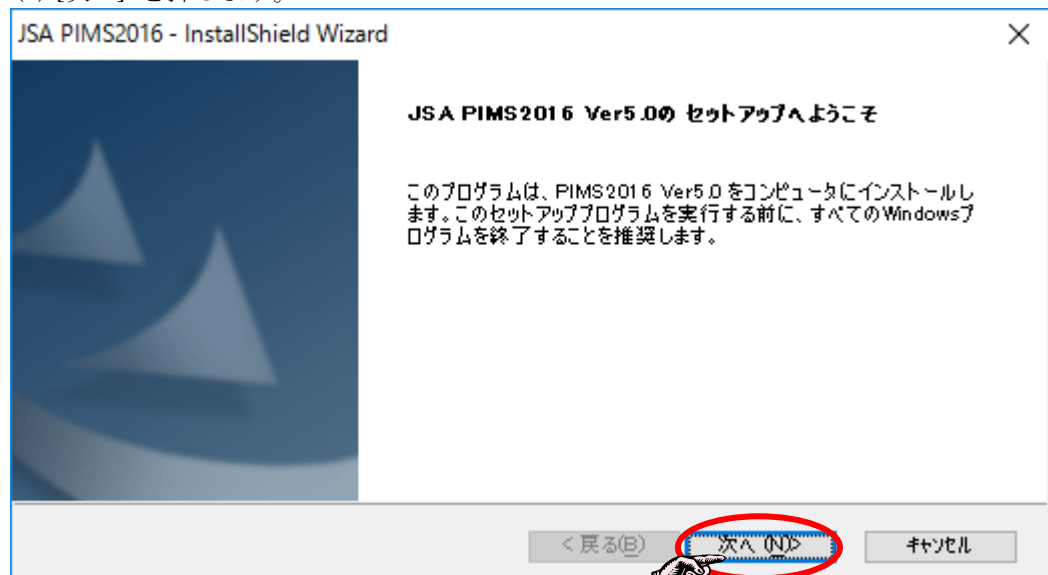


4.2 インストール手順

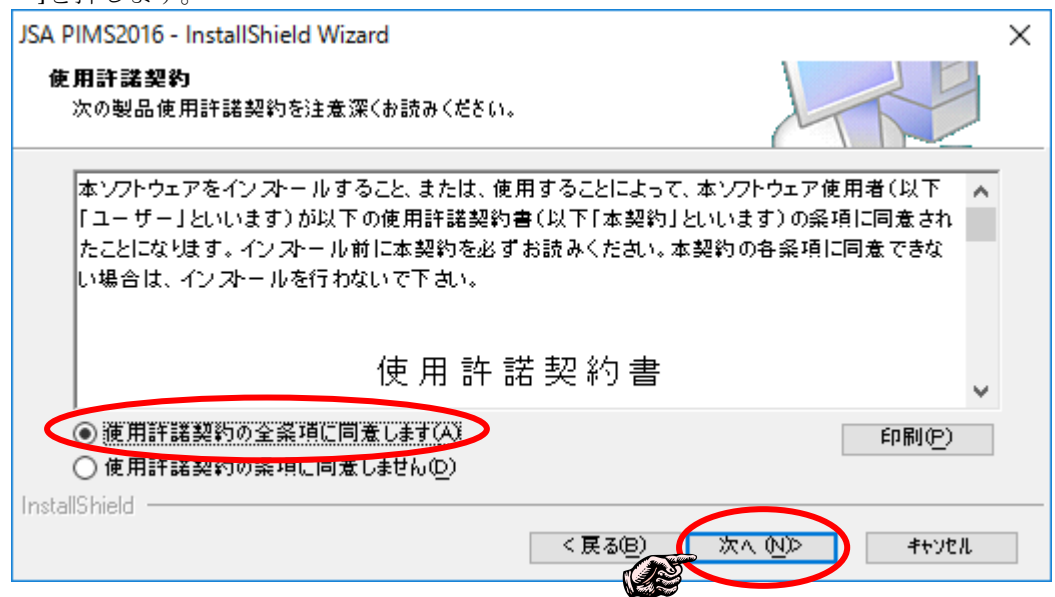
- 4.2.1(1) ヘルプデスクサイトよりダウンロードした Ver5.0 インストーラファイル中の「JSA_PIMS2016_Ver5.0 インストーラ」フォルダ下の「Setup.exe」をダブルクリックします。下記の画面が表示されます。



- 4.2.1(2) [次へ] を押します。

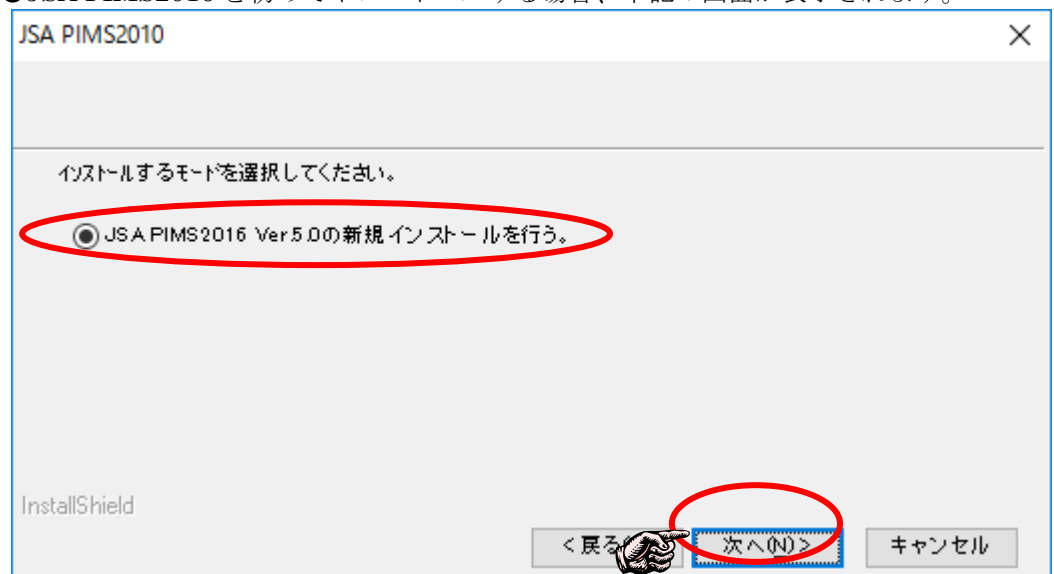


- 4.2.1(3) 使用許諾契約書の内容を確認し、<使用許諾契約の全条項に同意します>を選択して、[次へ]を押します。



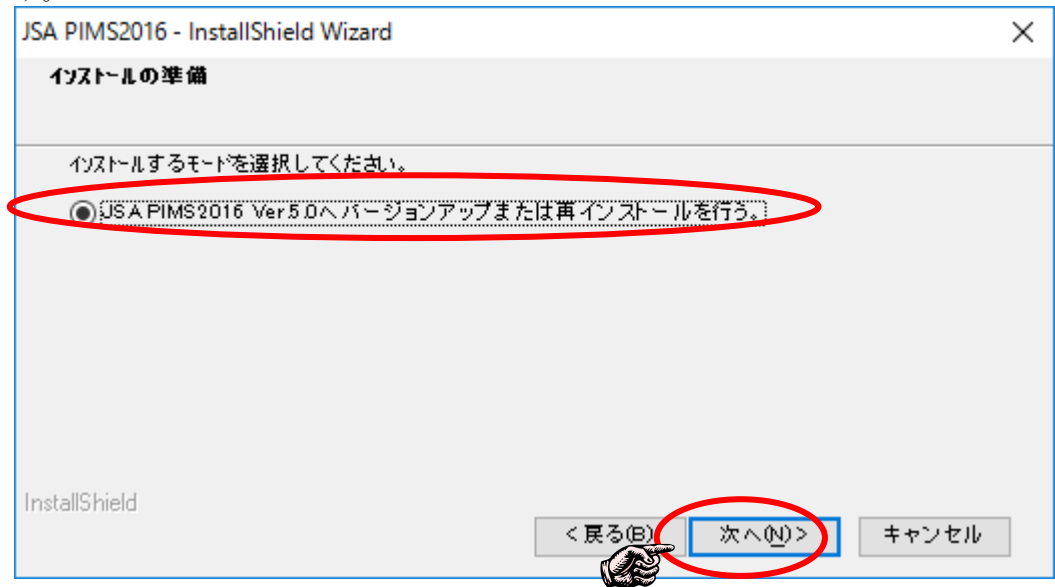
- 4.2.1(4) この後、表示される画面は、ご利用のコンピュータの状況により異なります。

- JSA PIMS2016 を初めてインストールする場合、下記の画面が表示されます。



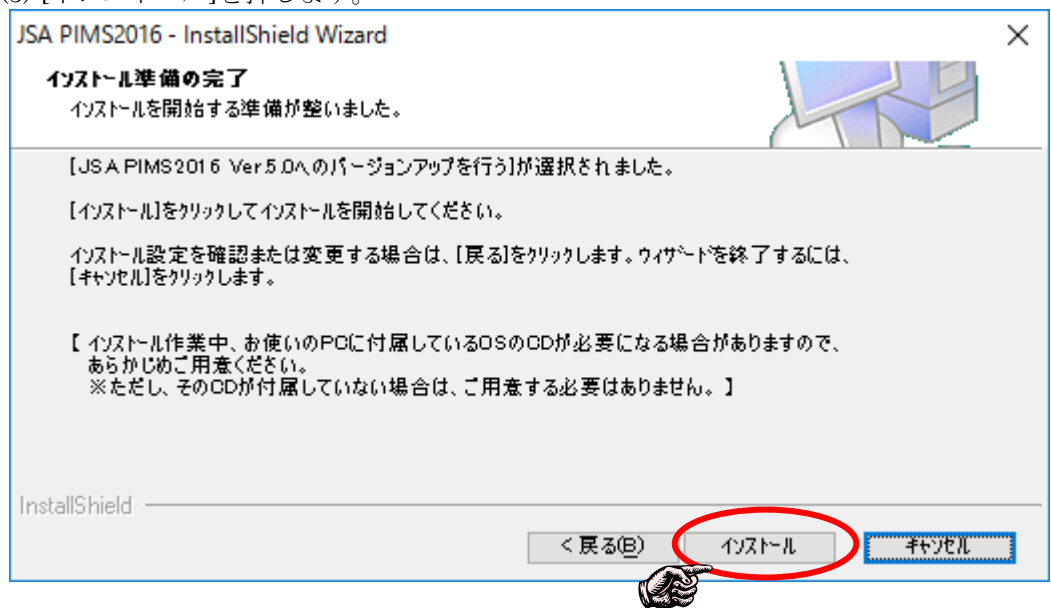
→「JSA PIMS2016 Ver5.0 の新規インストールを行う」を選択し、[次へ]を押します。

●JSA PIMS のバージョンアップ、再インストールを行う場合、下記の画面が表示されます。



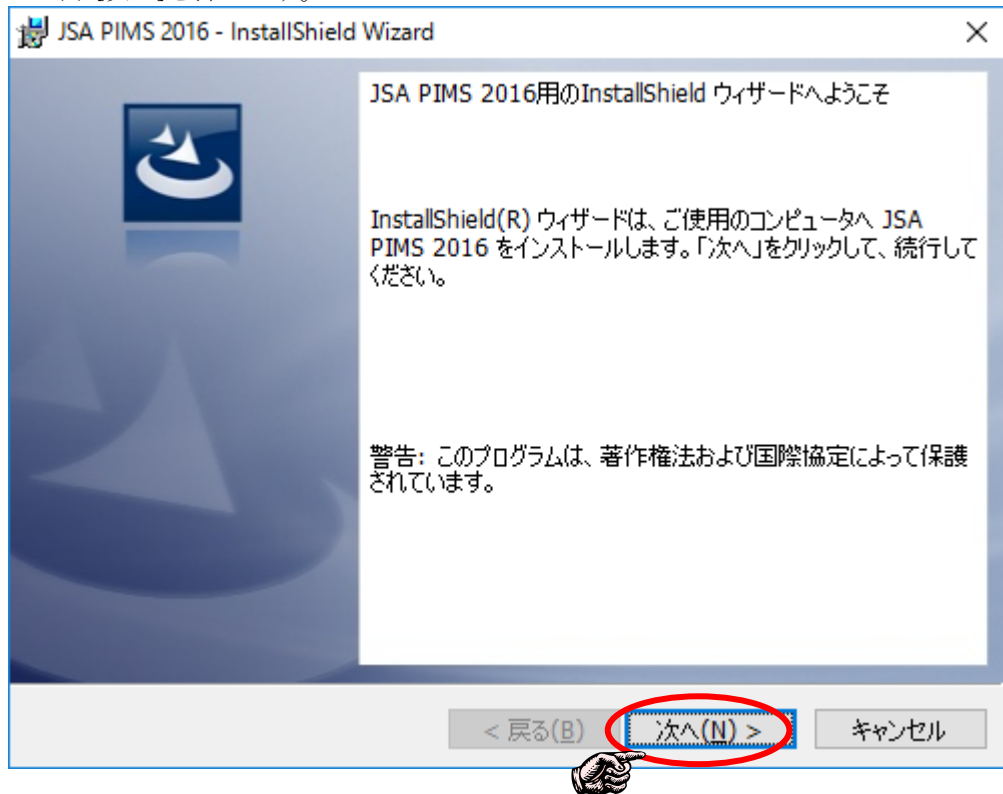
→「JSA PIMS2016 Ver5.0 へのバージョンアップまたは再インストールを行う」を選択し、[次へ]を押します。

4.2.1(5) [インストール]を押します。

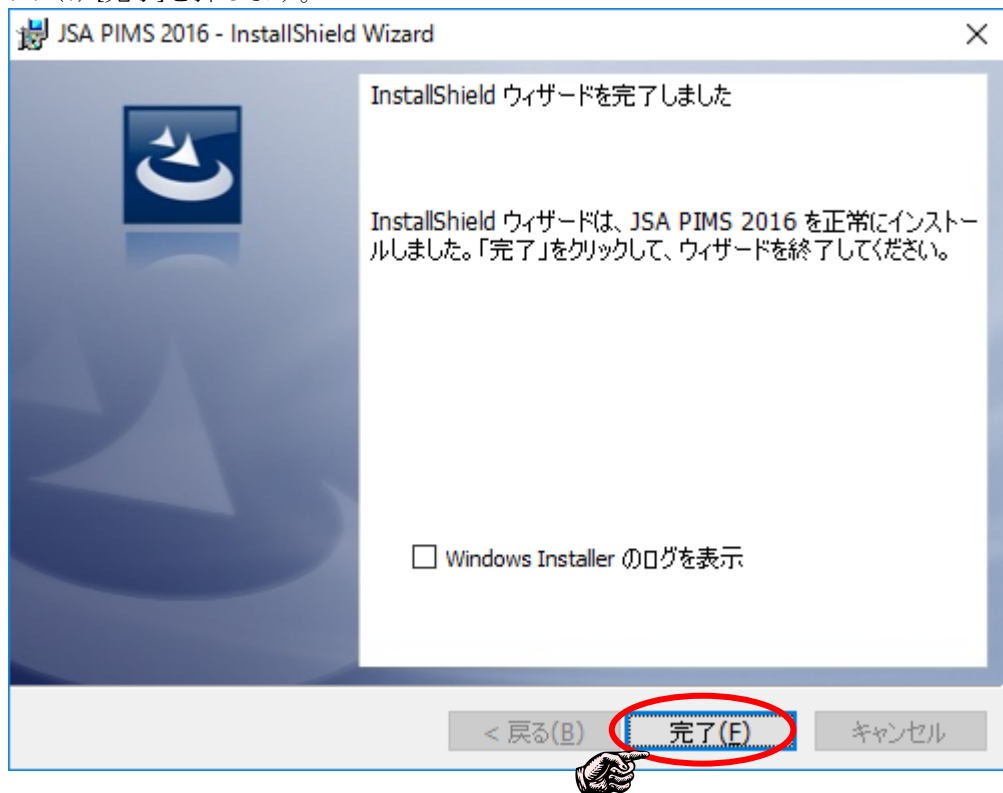


この後、IIS、PostgreSQL 等のインストールが自動で行われます(コンピュータの状況に応じ、数分から 10 分程度の時間がかかります)。

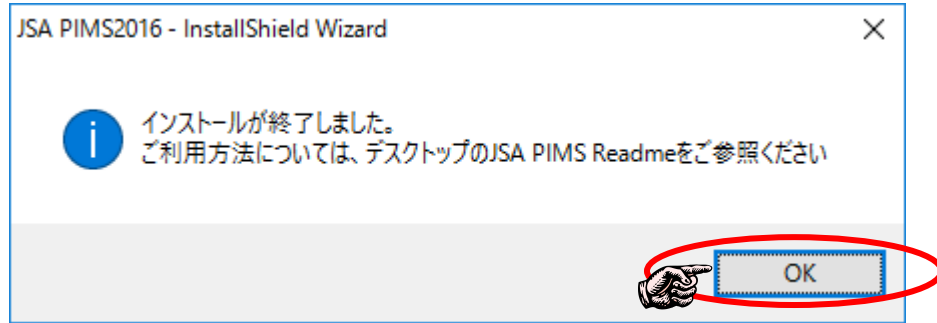
4.2.1(6) [次へ]を押します。



4.2.1(7) [完了]を押します。



4.2.1(8) [OK]を押します。



以上で JSA PIMS2016 のインストールは完了です。

これにより、デスクトップに、下記のアイコンが作成されます。



アイコンをダブルクリックすると、ログイン画面が表示されます。

なお、最初のご利用方法を記した「JSA_PIMS_ReadMe. txt」ファイルがデスクトップに作成されますので、同ファイルの内容をご参照ください。

4.3 旧環境のデータベースを新環境へ移行するには

4.3.1 旧環境、新環境の OS の両方ともが、Windows10, 8, 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server のうちのいずれかの場合

4.3.1(1) 旧環境 (Windows 10, 8, 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server) のデータベースバックアップ

本操作は、旧環境で実施します。手順は下記マニュアル項をご参照ください。



参照 JSA_PIMS2016 管理者マニュアル(3.運用管理).pdf の「2.データのバックアップをするには【重要】」、「2.1 Windows 10, 8, 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server をご使用の場合」

4.3.1(2) 新環境 (Windows 10, 8, 7, Vista, 2012Server, 2008Server) へのデータベースリストア

本操作は、新環境で実施します。手順は下記マニュアル項をご参照ください。



参照 JSA_PIMS2016 管理者マニュアル(3.運用管理).pdf の「4.データベースのリストア方法」、「4.1 Windows 10, 8, 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server をご使用の場合」

4.3.2 旧環境の OS が、Windows 2000, XP(XP Mode 含む), 2003 Server のいずれかであり、新環境の OS が Windows 10, 8, 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server の場合

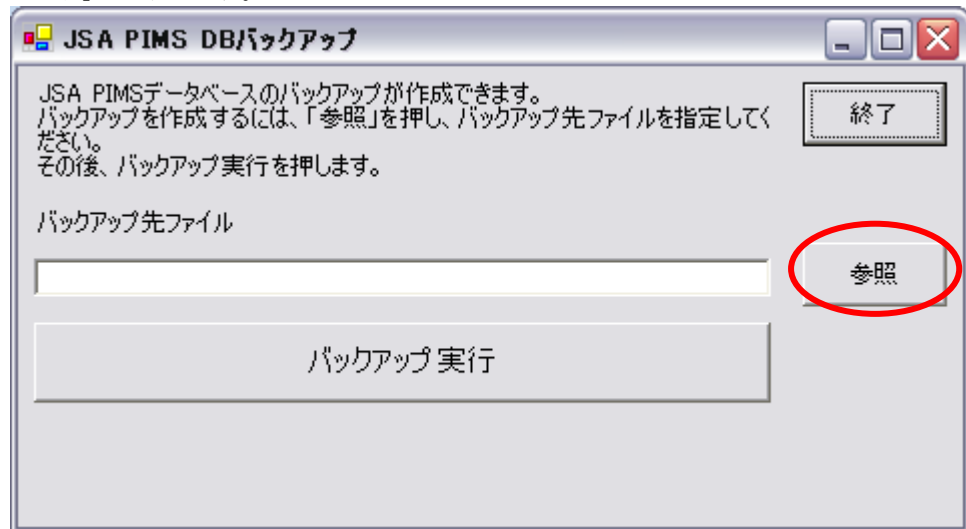
旧環境 (Windows 2000, XP, 2003 Server, Windows7 XP Mode) のデータベースを新環境 (Windows8, Windows 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server) へ移行するには、下記の手順を実施します。

4.3.2(1) 旧環境 (Windows 2000, XP(XP Mode 含む), 2003 Server) のデータベースバックアップ

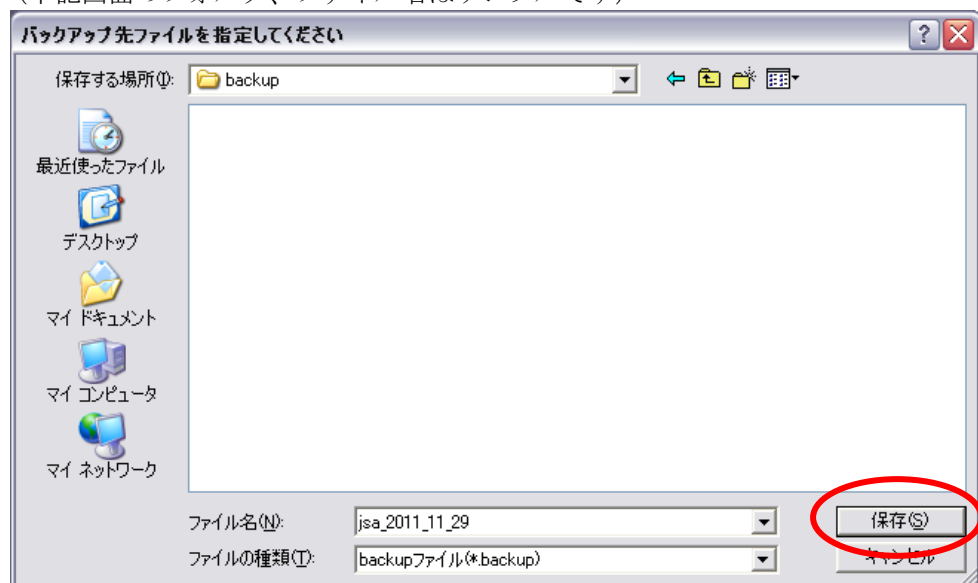
本操作は、旧環境 (Windows 2000, XP (XPMode 含む), 2003 Server) 上で実施します。

- 4.3.2.(1)(a) ヘルプデスクサイトよりダウンロードした Ver5.0 インストーラファイル中の
「JSA_PIMS2016_DB 移行ツール」¥「旧環境用 (Win2000,XP,2003Server,XPMode)」
フォルダ下の「PIMS_DB_XP2003.exe」をダブルクリックし起動します。

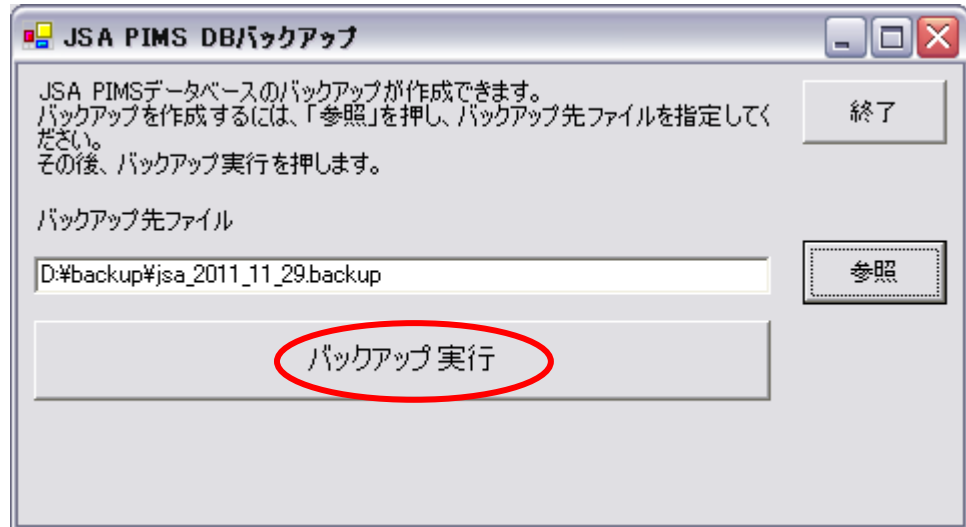
- 4.3.2.(1)(b) 下記の画面が表示されます。
「参照」を押します。



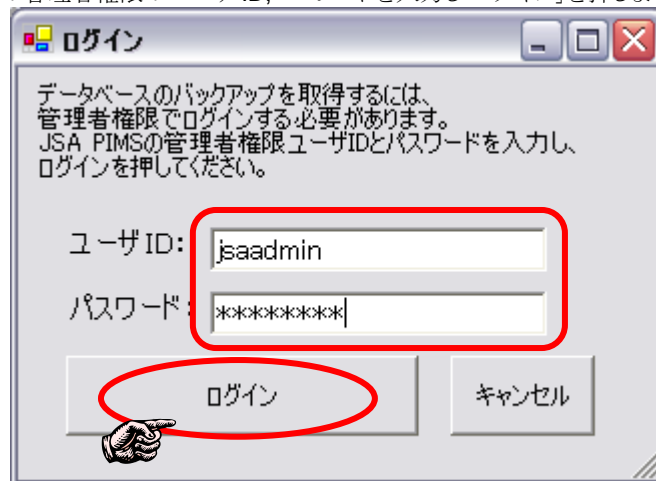
- 4.3.2.(1)(c) データベースのバックアップ先ファイルを指定し、「保存」を押します。
(下記画面のフォルダ、ファイル名はサンプルです)



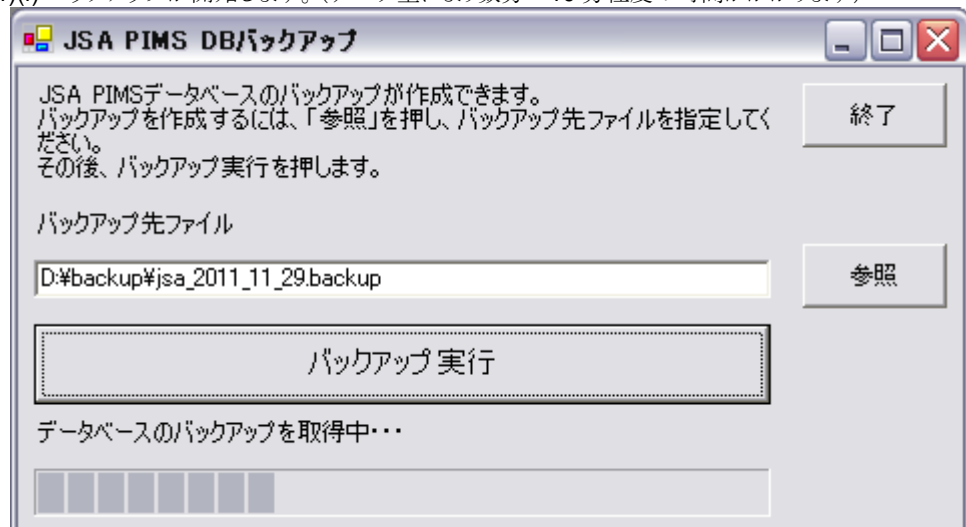
- 4.3.2.(1)(d) 「バックアップ実行」を押します。
(下記画面のバックアップ先ファイル名はサンプルです)



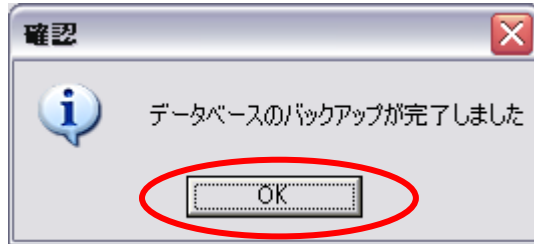
- 4.3.2.(1)(e) JSA PIMS の管理者権限のユーザ ID,パスワードを入力し「ログイン」を押します。



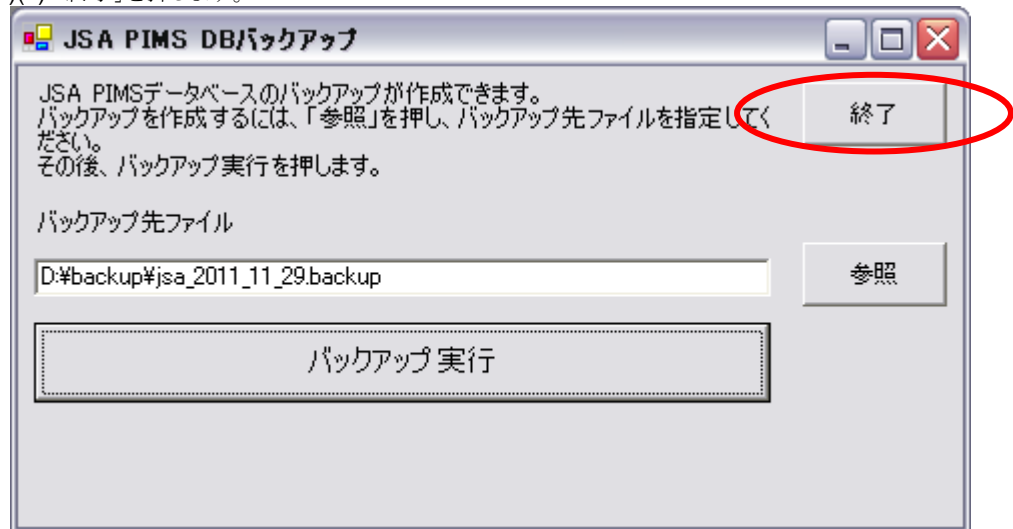
- 4.3.2.(1)(f) バックアップが開始します。(データ量により数分～10 分程度の時間がかかります)



4.3.2.(1)(g) バックアップが正常に完了すると下記画面が表示されます。「OK」を押します。



4.3.2.(1)(h) 「終了」を押します。



以上で、旧環境のデータベースバックアップは完了です。

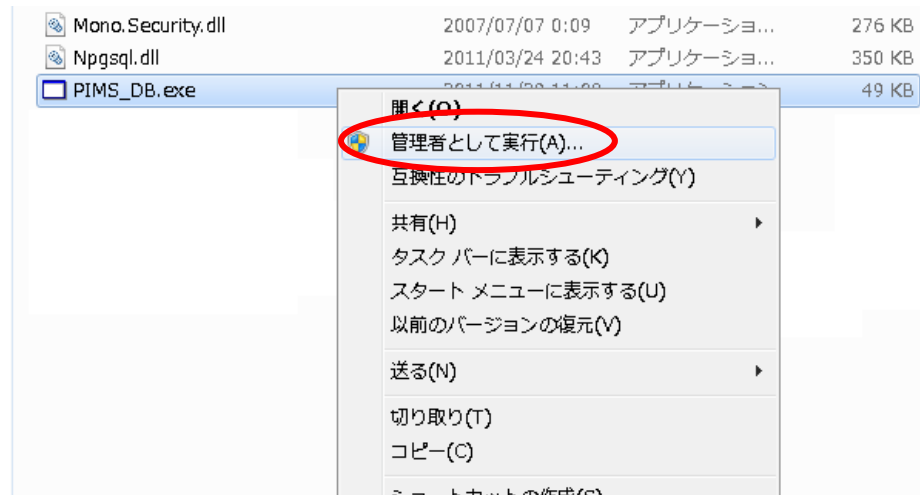
ここで作成したバックアップファイルは、新環境でのデータベースリストア時に使用しますので、新環境にコピーをする必要があります。

4.3.2(2) 新環境 (Windows 10, 8, 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server) へのデータベースリストア

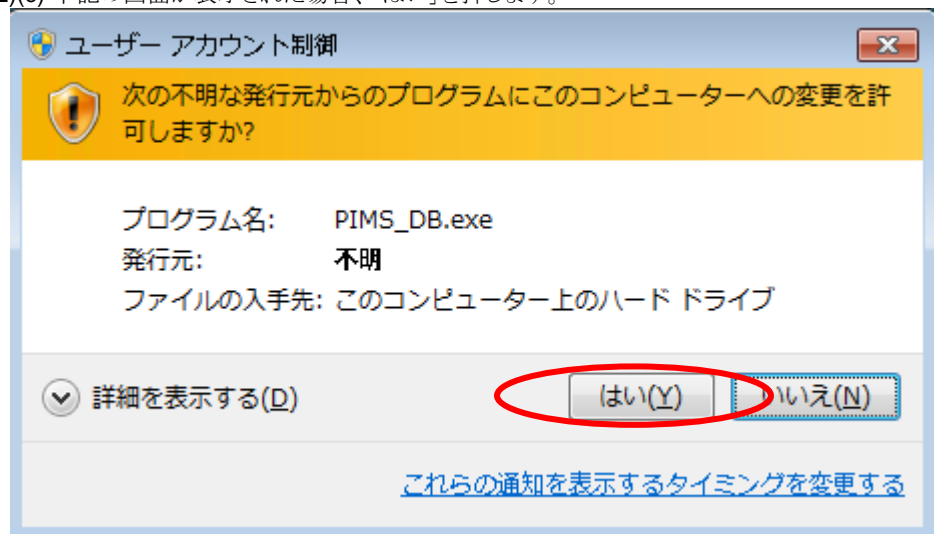
本操作は、新環境 (Windows 10, 8, 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server) 上で、実施します。

4.3.2.(2)(a) 4.3.2.(1)で取得した旧環境のデータベースのバックアップファイルを、新環境上の任意のフォルダにコピーします。

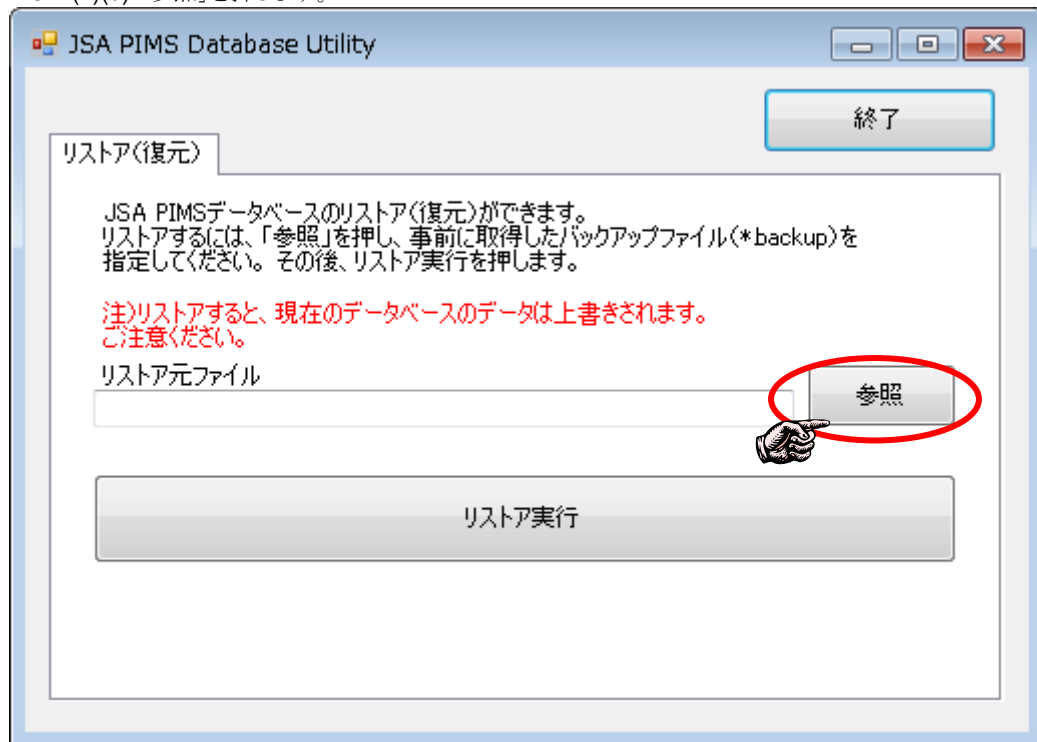
- 4.3.2.(2)(b) ヘルプデスクサイトよりダウンロードした Ver5.0 インストーラファイル中の「JSA_PIMS2016_DB 移行ツール」¥「新環境用 (Win10, 8, Win7, Vista, 2012Server, 2008Server)」フォルダ下の「PIMS_DB.exe」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。



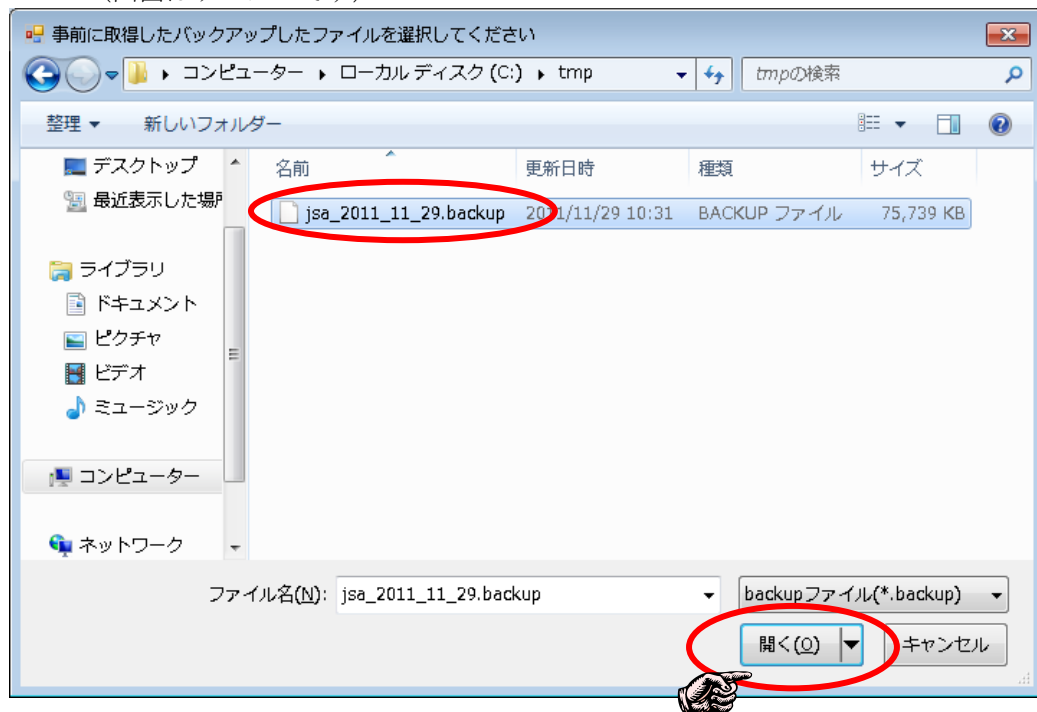
- 4.3.2.(2)(c) 下記の画面が表示された場合、「はい」を押します。



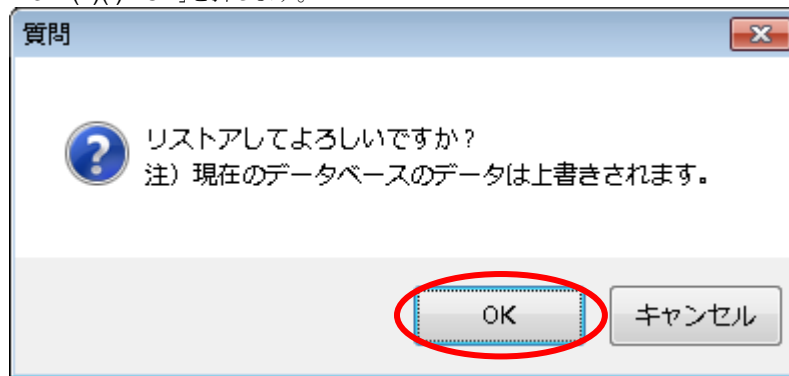
4.3.2.(2)(d)「参照」を押します。



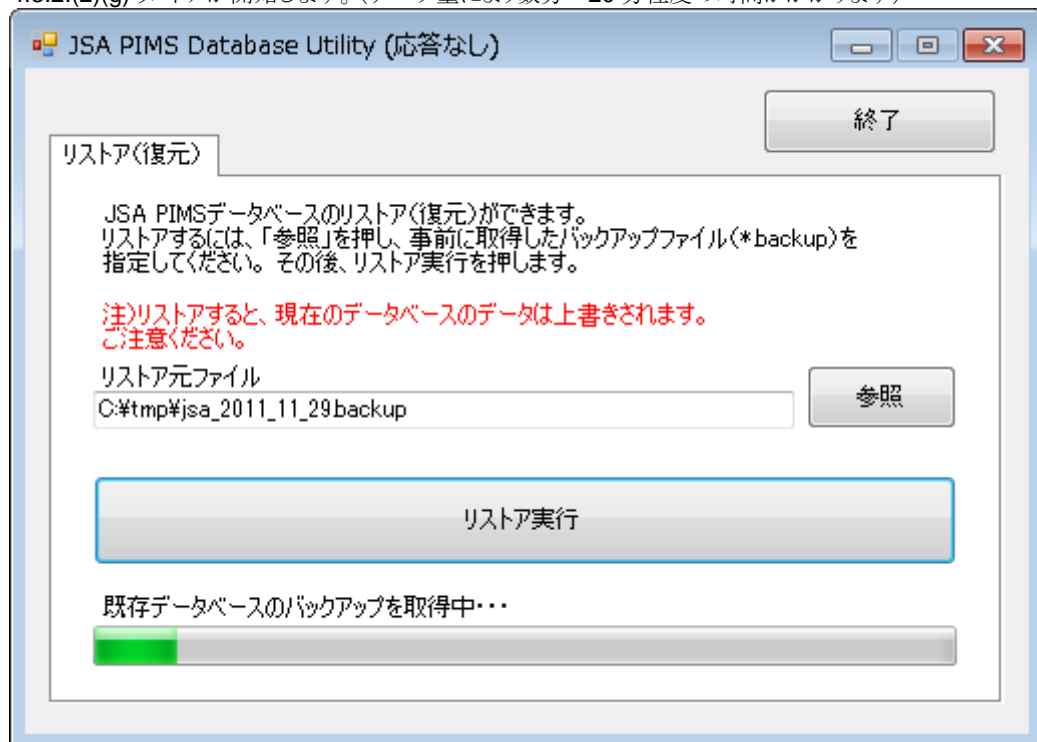
4.3.2.(2)(e) ここで、4.3.2.(2)(a)で新環境にコピー後の、旧環境のバックアップファイルを選択し「開く」を押します。
(画面はサンプルです)



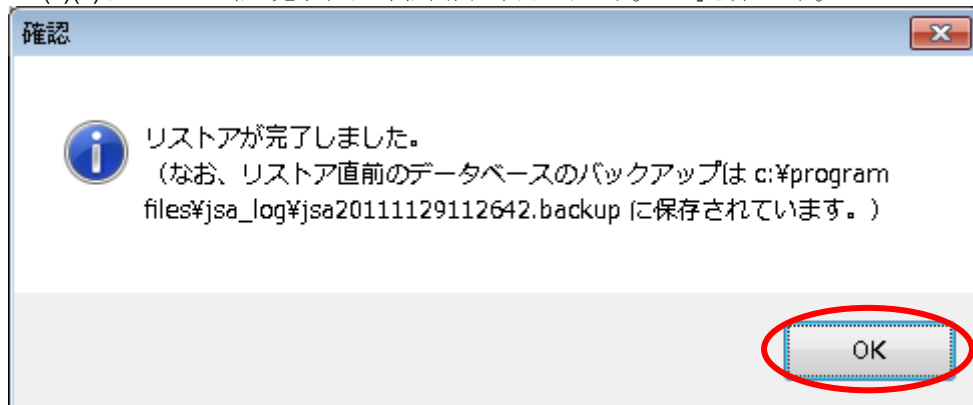
4.3.2.(2)(f) 「OK」を押します。



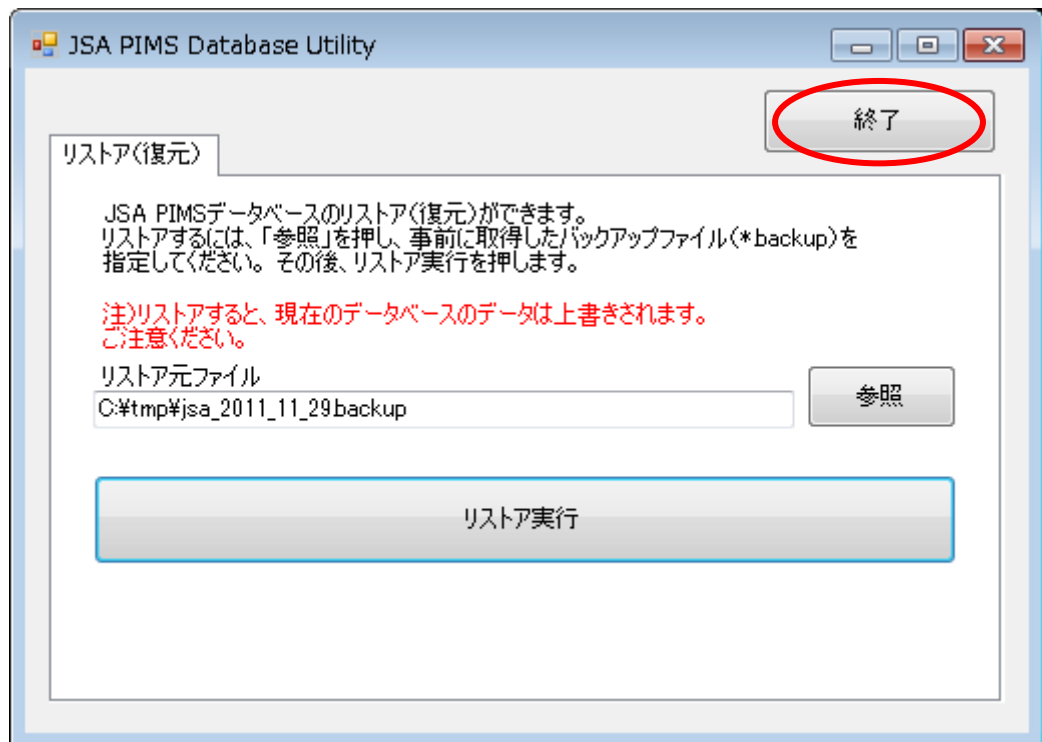
4.3.2.(2)(g) リストアが開始します。(データ量により数分～20 分程度の時間がかかります)



4.3.2.(2)(h) リストアが正常に完了すると下記画面が表示されます。「OK」を押します。



4.3.2.(2)(i) 「終了」を押します。



以上で、新環境へのデータベースリストアは完了です。旧環境で登録した全てのデータが新環境に移行されました。

新環境の JSA PIMS2016 は、旧環境で使用していたユーザ ID／パスワードでログインできます。

5 システム利用スタート

5.1 ブラウザの設定

本システムは、Internet Explorer を利用します。

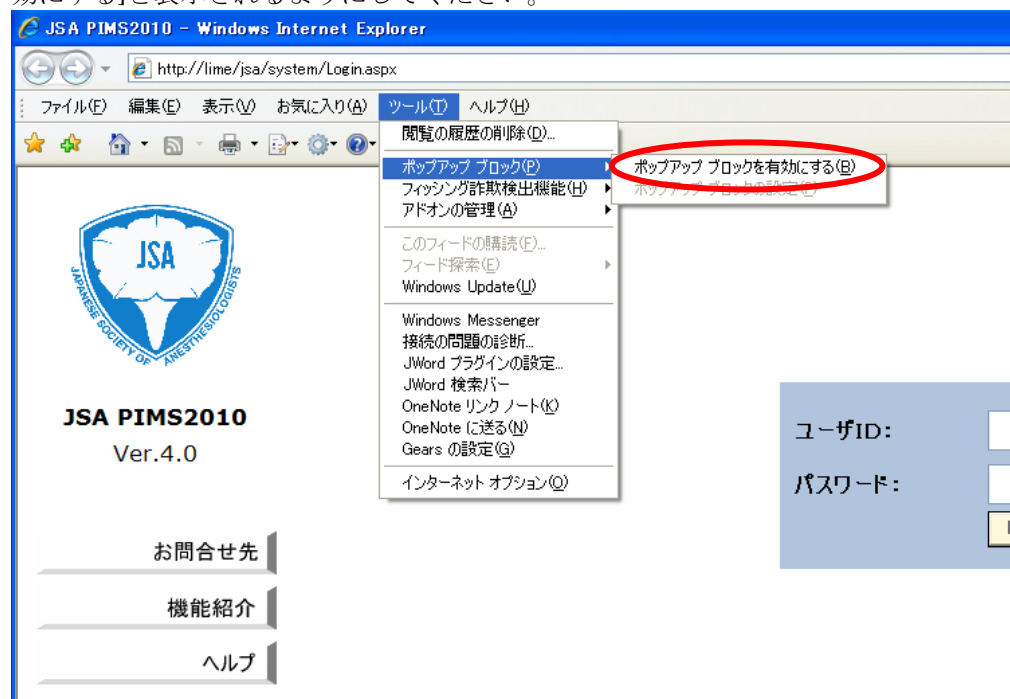
ここでは、本システムを使用するにあたり、Internet Explorer に必要な設定を説明します。

本設定が正しくされていない場合、システムは正常に動作しないことがあります。

本設定は、システムを正常に動作させるために必要ですので、必ずご確認をお願いいたします。

5.1.1 ポップアップブロックは使わない設定にする。

5.1.1(1) Internet Explorer の「ツール」-「ポップアップブロック」を選択し、ポップアップブロックが無効になっていることをご確認ください（下記画面のように[ポップアップブロックを有効にする]と表示されていることをご確認ください）。もしここで[ポップアップブロックを無効にする]と表示されている場合は、クリックし[ポップアップブロックを有効にする]と表示されるようにしてください。

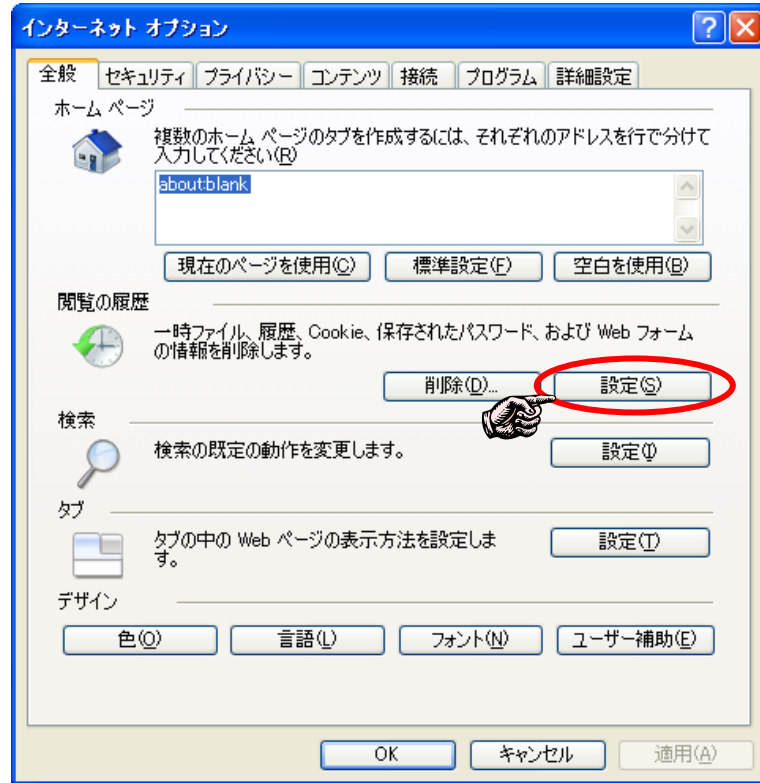


5.1.1(2) google や yahoo などのツールバーをご使用の場合、ポップアップを許可する設定になっていることをご確認ください。

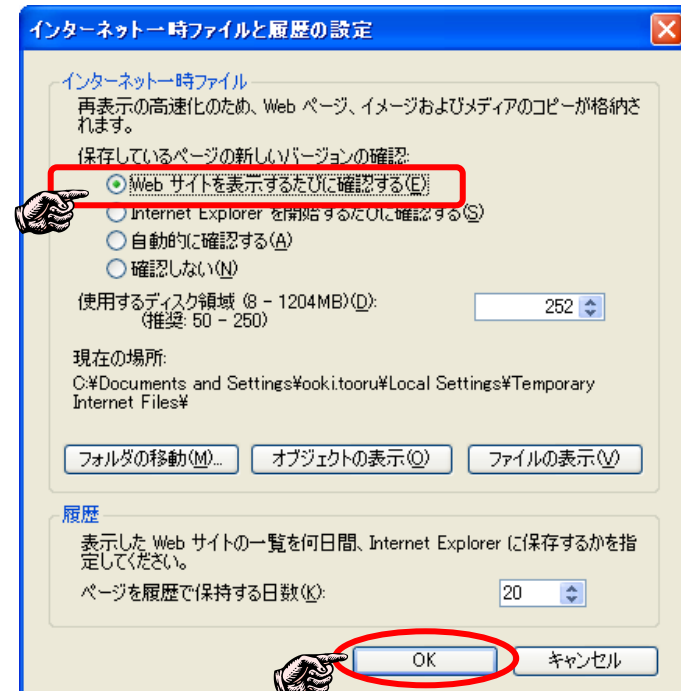
5.1.2 [インターネット一時ファイル]の設定

5.1.2(1) Internet Explorer を起動して、[ツール]-[インターネットオプション]を選択します。以下の画面が表示されます。

5.1.2(2) [全般]-[インターネット一時ファイル]欄の[設定]ボタンを押します。



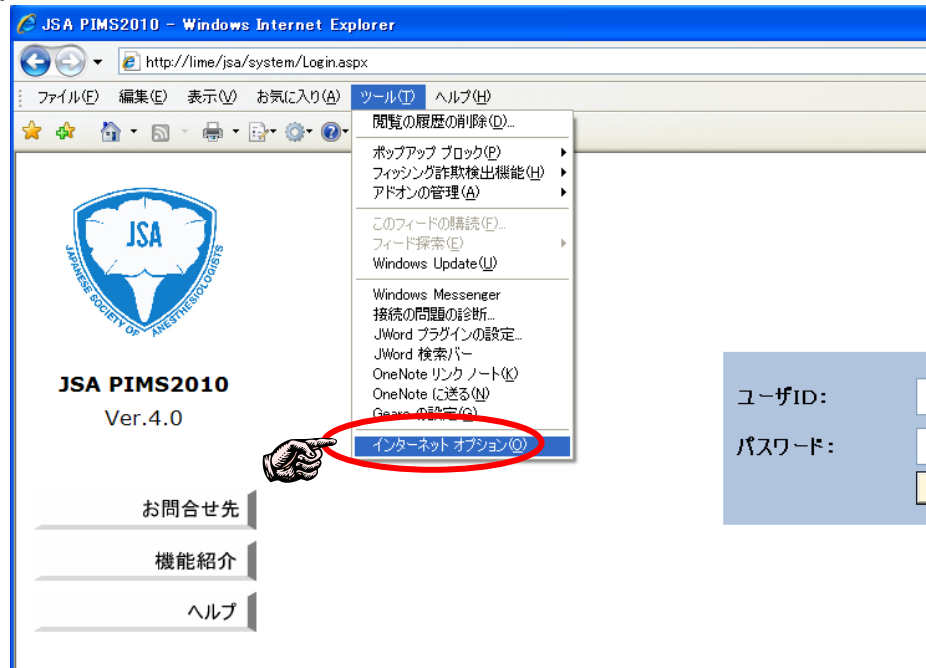
5.1.2(3) [インターネット一時ファイル]欄を「Web サイトを表示するたびに確認する」に設定し、[OK]を押します。



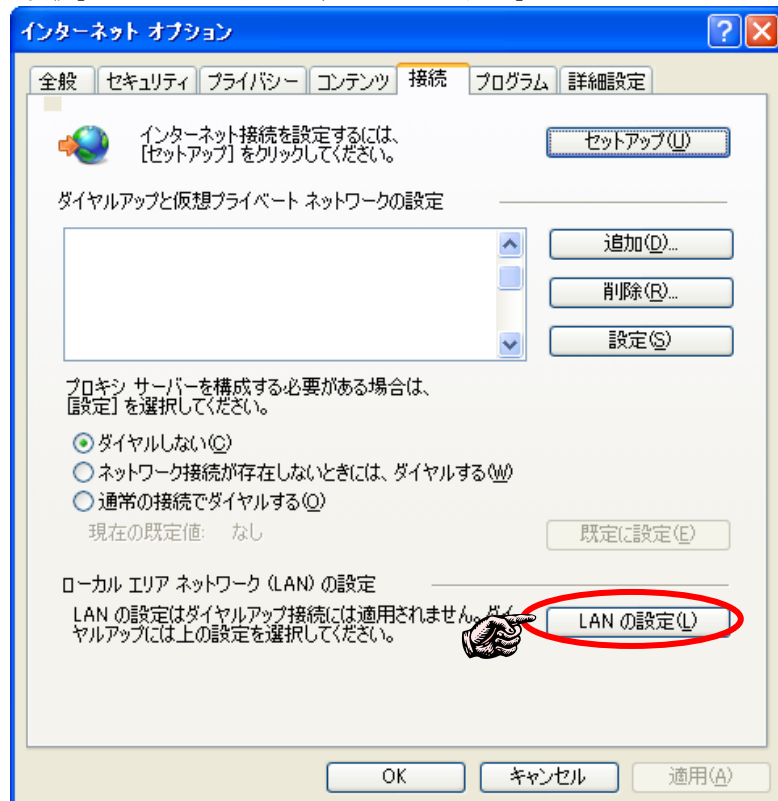
以上で、[インターネット一時ファイル]の設定は完了です。

5.1.3 プロキシの設定

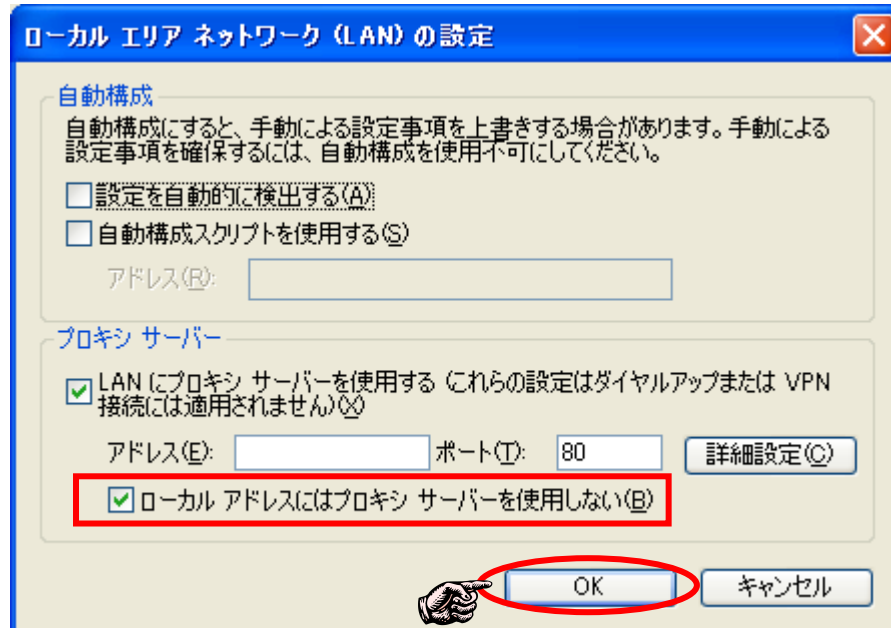
5.1.3(1) Internet Explorer を起動して、「ツール」 - 「インターネットオプション」を選択します。



5.1.3(2) 「接続」タブをクリックし、「LAN の設定」ボタンをクリックします。



- 5.1.3(3) 「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」のプロキシサーバー欄を確認してください。もし使用されている場合は、「ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない」にチェックしてください。チェックしたら、[OK]を押します。

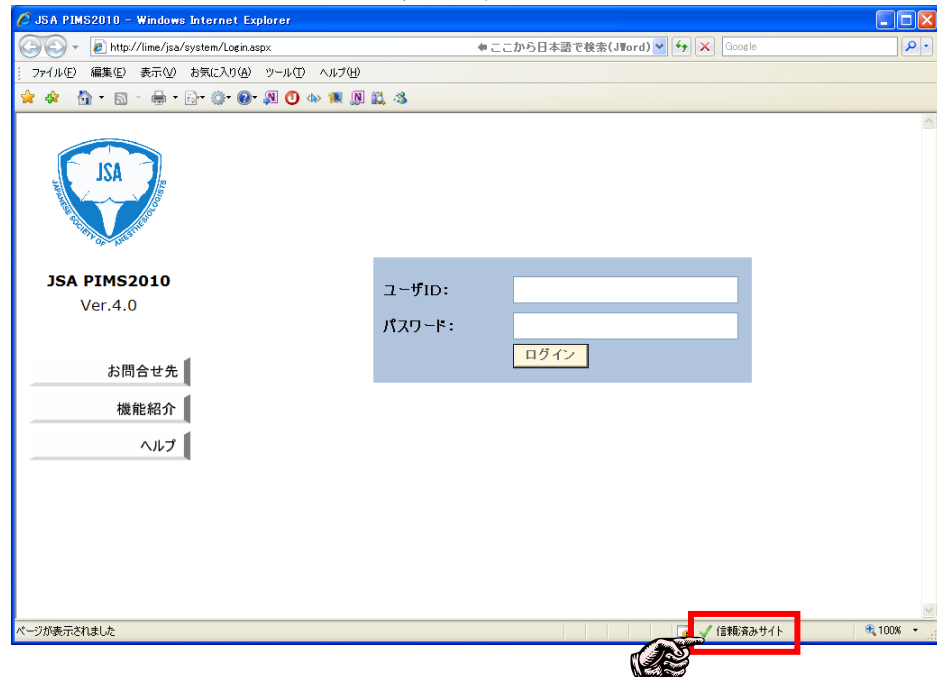


5.1.4 セキュリティ設定

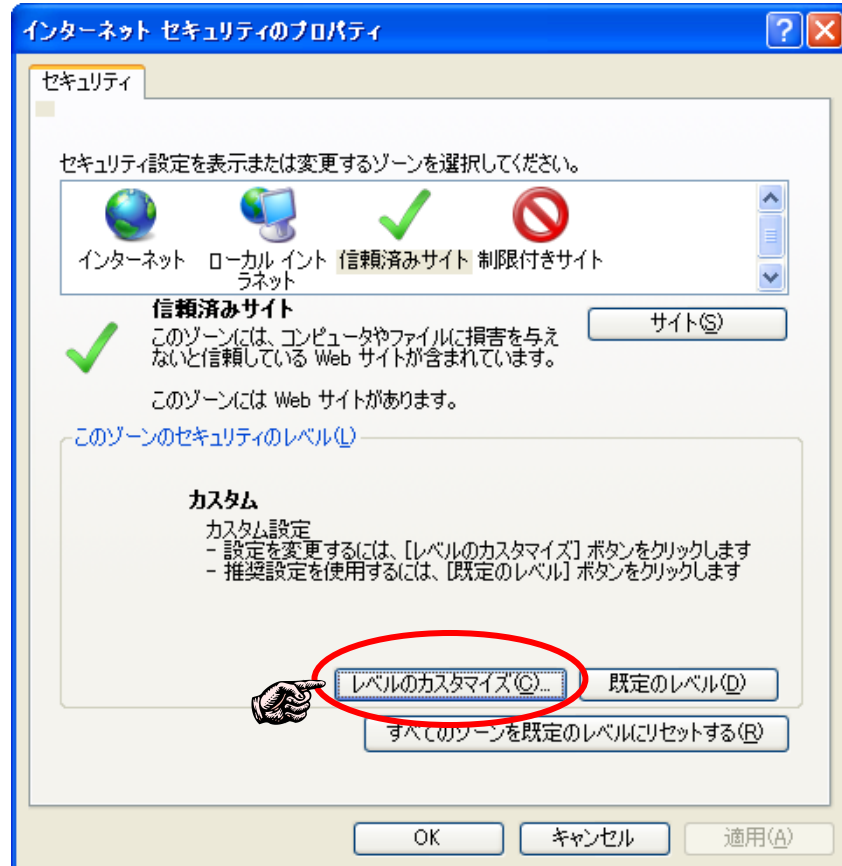
■JavaScriptの実行許可

- 5.1.4(1) デスクトップに作成された本システムショートカットをダブルクリックして、ログイン画面を表示します。

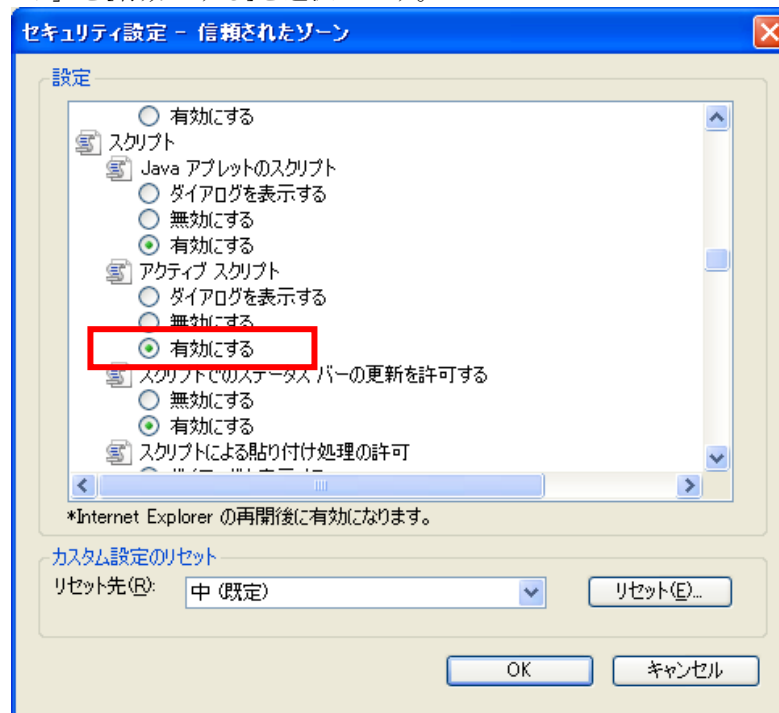
- 5.1.4(2) ログイン画面が表示されましたら、画面右下のアイコンをダブルクリックします。



5.1.4(3) [レベルのカスタマイズ]を押します。

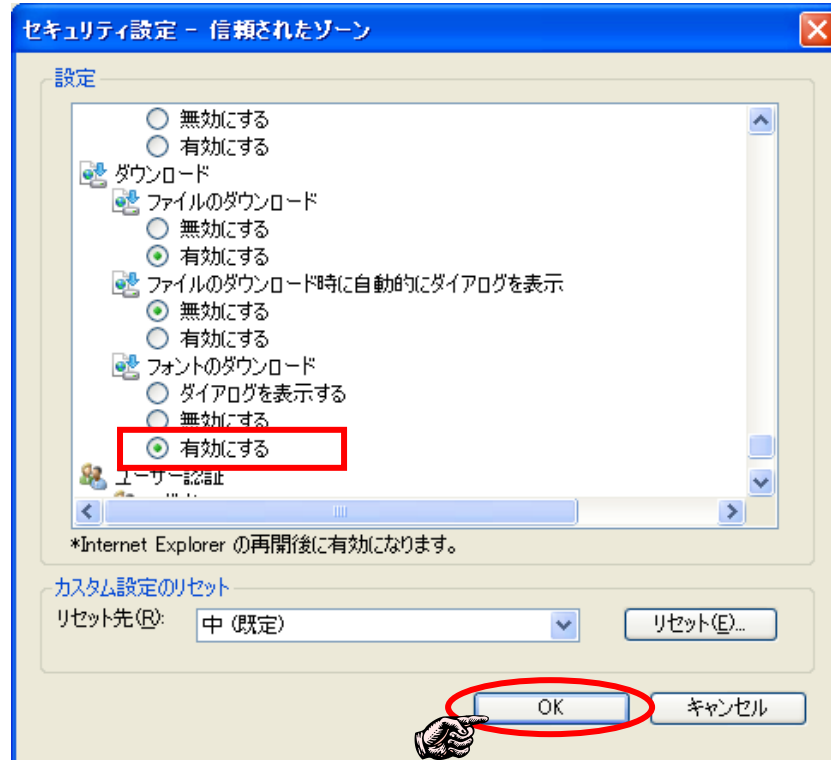


5.1.4(4) 「セキュリティの設定」画面が表示されますので、「スクリプト」→「アクティブスクリプト」を[有効にする]を選択します。



■ダウンロードファイルの許可

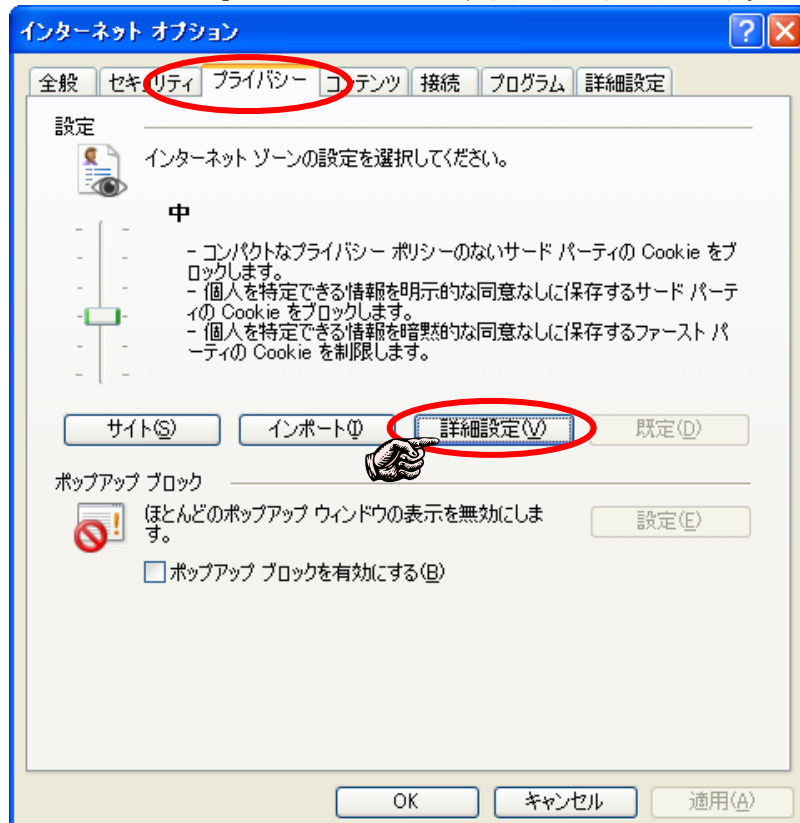
5.1.4(5) 「ダウンロード」 → 「ファイルのダウンロード」 を[有効にする]を選択して[OK]を押します。



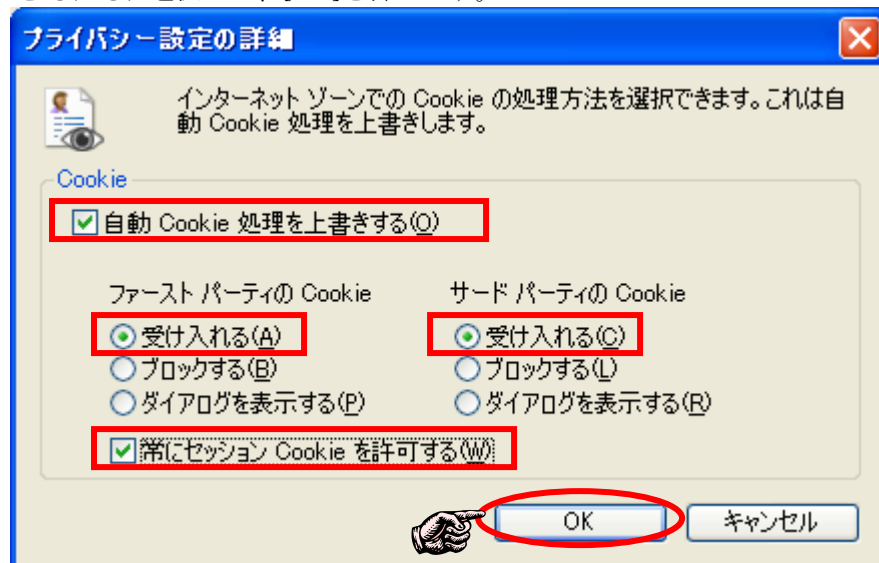
5.1.5 Cookie の許可

5.1.5(1) 「ツール」 - 「インターネットオプション」を選択します。

5.1.5(2) 「プライバシー」タブをクリックし、[詳細設定]を押します。



- 5.1.5(3) 「プライバシー設定の詳細」画面が開きます。画面が開きましたら[自動 Cookie 処理を上書きする]、[常にセッション Cookie を許可する]にチェックを入れます。また、「ファーストパーティの Cookie」を[受け入れる]、「サードパーティの Cookie」を[受け入れる]をそれぞれ選択して、[OK]を押します。



5.2 システムの起動

- 5.2.1(1) Internet Explorer を起動します。
5.2.1(2) Internet Explorer のアドレス欄に以下の URL を指定します。

■1台のコンピュータで利用する形態の場合

`http://localhost/jsa/system/Login.aspx`



参照 「2.2 1台の PC で利用する形態」

■複数のコンピュータでネットワークを介し利用する形態の場合

`http://[コンピュータ名]/jsa/system/Login.aspx`

※[コンピュータ名]にはサーバ用 PC のコンピュータ名、または IP アドレスを指定します。



参照 「2.3 複数のコンピュータでネットワークを介し利用する形態」

→これにより本システムのログイン画面が表示されます。

5.3 システムへの最初のログイン

5.3.1(1) 「ログイン」画面で、

[ユーザ ID]に <jsaadmin >

[パスワード]に <jsaadmin >

を入力し、[ログイン]を押します。

→これにより本システムのメインメニュー画面が表示されます。

※ jsaadmin ユーザは、システムに予め設定してある初期ログイン用の管理者権限を持つユーザです。「パスワード変更」機能により必ずパスワードを変更してください。

この後、マスタ情報の登録と、システム利用ユーザ登録を行ってください。



参照 マスタ登録の方法は、JSA PIMS2016 管理者マニュアル(3.運用管理)の「12 マスタ情報の管理について」をご参照ください。



参照 システム利用ユーザ登録の方法は、JSA PIMS2016 管理者マニュアル(3.運用管理)の「6 システム利用ユーザを登録するには」をご参照ください

6 システムを試用するには

本システムでは、新しいシステムの操作に慣れていただくために、試用データの登録ができるようになっています。試用データは、後で一括消去することができます。

6.1 試用データの登録方法

6.1.1 jsatest ユーザでログイン

試用でデータを登録するには、「ログイン」画面で以下の入力をし

[ユーザ ID]に `jsatest` >

[パスワード]に `jsatest` >

[ログイン]を押します。

- ・ログイン後、システムに登録したデータは全て試用データとして登録されます。
(データ保全の為、試用ユーザはマスタメンテナンス機能は使用できないようになっています。)



注意 試用データは、本番データを登録する前に、「7.2 試用データの削除方法」に記述の方法により、削除してください。



注意 実際のデータは、試用ユーザで登録しないでください。
もし登録をした場合には、試用データの削除を行うと、データがデータベースから削除されてしまいます。



注意 試用ユーザで登録したデータは、以下のデータに含まれて表示されます。

- ・学会提出用ファイルのデータ
- ・臨床実績報告書のデータ
- ・「検索・集計」のデータ

このため、試用が終わった段階で、「7.2 試用データの削除方法」により、削除をしてください。

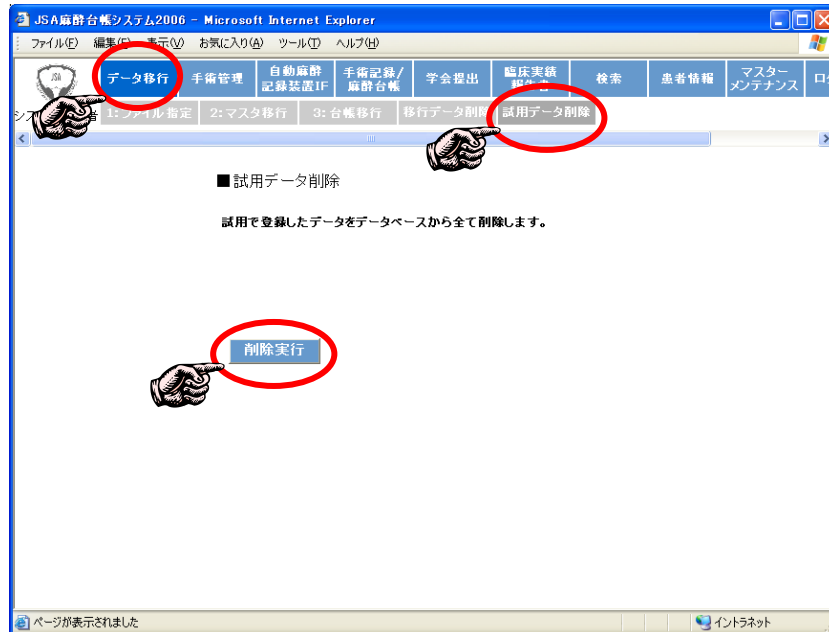
6.2 試用データの削除方法

ここでは、試用データの削除の手順を説明します。

6.2.1(1) 「データ移行」 | 「試用データ削除」を選択します。

→以下の画面が表示されます。

[削除実行]を押します。



6.2.1(2) [OK]を押します。



→下記画面が表示されます。



以上で、試用データの削除は完了です。

以上